

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス LEIF仁川		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 28日 (火)		2025年 2月 9日 (日)
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	61名	(回答者数) 57名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 10日 (月)		2025年 2月 12日 (水)
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	雨天や気候に左右されない運動療育の提供	室内を適宜使用できる事を踏まえてのスケジュールリング、使用にあたっての運動療育の立案が出来ている事で子どもたちの1日の療育での充実感を高めていく事が出来ている	運動療育と安全性の充実を図るために、引き続き室内と屋外をより効果的に使い分けて運動療育を立案し、過ごしやすさや充実感、安全性の向上を行う。開所して1年に満たない施設になるのでお子様の成長に合わせたブラッシュアップを先手先手で行っていく
2	認めて・褒めて・励まして・勇気づける指導理念を軸に子どもたちの成功体験を大切に出来ている	理念を軸とした療育内容、運動療育のメニュー考案、目標設定や集団でのルールや約束の設定が指導員の想いとお子様それぞれの成長を踏まえて設定出来ている事で出来た！と感じる成功体験を増やす事が出来ている	日々の運動療育での課題解決策や職員の投じた成功支援をより蓄積して職員全体でスキルと経験値を高めていける仕組みを構築する。常にお子様への支援の品質向上とそこからの成長を見据えて良質な学びに繋げていく
3	保護者様への情報共有、支援内容の共有スピード	細かい部分も指導員間で帰宅送迎前に共有、当日の即振り返りを行えている。保護者様へのスピード感を持って療育での情報共有が行えている	スピード感を維持したままですこからの課題解決策やお子様の成長課題に対しての支援方法や打ち手を具体的にお伝えして支援の改善からの統一をより行えるように職員間で意見交換を行い形にしていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	研修の実施やマニュアル等、保護者様に明確にお伝えできていない部分、共有頂けていない内容が見受けられる	指導員の人数配置や事業所内の様子、各種訓練や研修、マなどが実施出来ているが保護者様への分かり易さや高い理解度での伝達が不足している。	保護者様に向けての連絡方法の改善 療育内容を視覚で伝えたり、SNSなどのツールで直接共有と合わせて伝えることでより理解と安心の下でお子様を預けていただく環境を構築していく
2	保護者様同士の関わりが少ない	祝日イベント等でご兄弟・保護者様の参加、交流ができる内容は実施出来ている。それ以外の交流、コミュニティの構築がまだまだ不十分	2025年3月に西宮店で保護者会を実施する。多角的なコミュニティを施設全体として生み出していく事でご家族・保護者様同士のつながりを増やすことで通所するお子様だけでなく保護者様の不安も取り除ける施設を目指します
3	職員の対応力や療育での支援方法、課題解決策の立案	職員間での共有や事業所運営の課題が個人の力に寄る場面がある。支援者としての個々のスキルを伸ばす、弱みを補える仕組みと学びの場が必要。	社内での改善策へのアイデアの意見交換の場をより構築する中でe-learningを活用したスキル、マニュアルの理解度の向上。日々の療育の中で長期的な成長を促進できる環境をLEIFとして構築していく必要がある